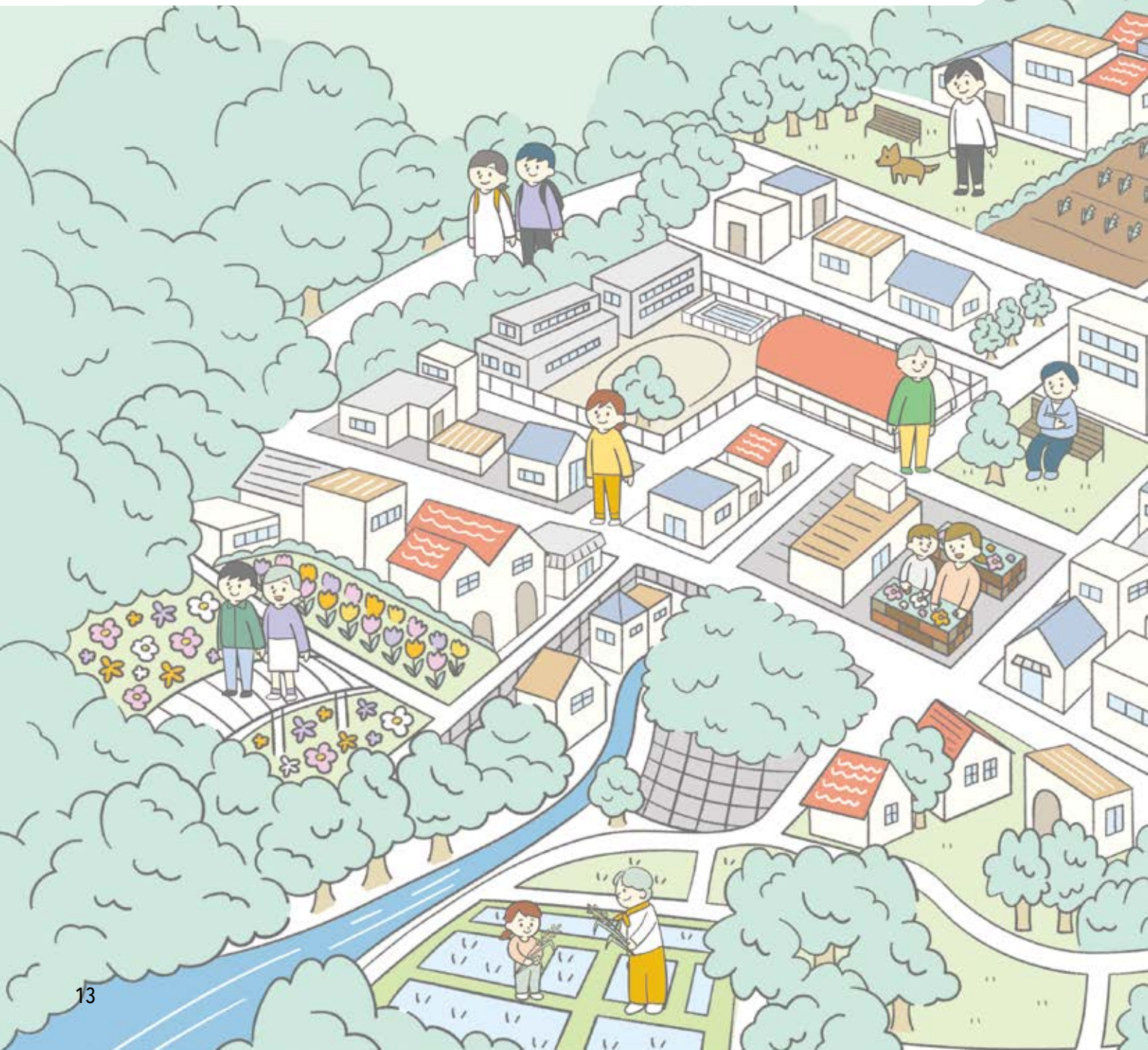


4.横浜みどりアップ計画[2024-2028]が目指す姿

「横浜みどりアップ計画」では、土地所有者やボランティアをはじめとした様々な方との協働により緑の取組を進めることで、緑を保全・創出し、大都市ながらも暮らしの身近な場所に多様な緑がある横浜ならではの魅力を築いてきました。

「横浜みどりアップ計画[2024-2028]」では、これまでの取組によって保全・創出した緑を生かしながら、未来の創り手となる子どもたちの豊かな心を育む自然体験や農体験をはじめとした緑にふれる機会や、地域への愛着をうみ、人と人がつながるきっかけとなる身近な場所での市民活動に関わる機会を充実させることで、2027年に開催される「GREEN×EXPO 2027(2027年国際園芸博覧会)」に向けた共感や機運を醸成し、「花・緑・農・水の豊かな魅力あふれるガーデンシティ横浜(※)」の実現につなげていきます。

※ ガーデンシティ横浜：市民・企業等の様々な主体が連携し、横浜らしい花・緑・農・水のある豊かな自然環境を更に創出し、潤いや安らぎを感じられる横浜を次世代に引き継ぎ、魅力ある横浜へと発展させていく目指す都市の姿。





第1章 横浜の緑の取組と方向性

第2章 横浜みどりアップ計画

資料編

5.横浜みどりアップ計画[2024-2028]の方向性

多様なコミュニティの形成や市民活動の支援の拡充

全市域に広がっている緑や花に関する活動への支援を充実させ、さらに発展させることで、活発な市民活動が行われている姿を目指します。



市民が緑に関わる取組のさらなる展開

市民が緑にふれ、感じることができるよう、魅力的な空間づくりや体験イベントの開催をはじめ、これまで確保してきた緑のストックの一層の活用を進めます。



身近な緑の着実な確保と維持管理による質の向上

引き続き身近な緑の場を保全・創出して良好な育成を進めることで、都市環境を形成する主要な要素である緑のもつ多様な機能を効果的に発揮させていきます。



市民・事業者の皆様に取り組の意義や成果、

緑がもたらす効果をわかりやすく伝えることで、取組への共感と、

緑のある暮らしの実感につながる広報を展開